

## 「一番搾り」の“おいしさ”で機能系ビール市場活性化へ 「キリン一番搾り 糖質ゼロ」大刷新して新発売 ～当社ビール商品の過去10年におけるリニューアルで最高<sup>※1</sup>の味覚進化を実現！～

キリンビール株式会社（社長 堀口英樹）は、国内で初めて<sup>※2</sup>ビールカテゴリーで「糖質ゼロ<sup>※3</sup>」を実現した「キリン一番搾り 糖質ゼロ（以下、「一番搾り 糖質ゼロ」）」を中味・パッケージとともに刷新し、7月製造品より順次切り替えます。

※1 過去10年、当社ビール商品のリニューアル前後品の味覚評価比較において（当社調べ）

※2 ビールで糖質ゼロを実現した国内で初めての缶商品（Mintel GNPDを用いた当社調べ） ※3 食品表示基準による

2020年の酒税改正によるビールの減税を追い風に、ビールカテゴリーは伸長を続けています。中でも、お客様の健康意識の高まりがコロナ禍で加速したことを背景に、全年代において機能系ビールの飲用意向が伸長しており、特に若年層の伸長が顕著<sup>※4</sup>です。また近年、機能系ビール類の飲用者はビール類飲用者全体の約4割を占めるまでに成長<sup>※5</sup>しました。今後さらにその傾向が強まることも寄与し、当社は機能系ビール市場が2027年までに2021年比2倍以上に伸長<sup>※6</sup>すると予測しています。

※4 当社調べ

※5 インタージ SCI 調べ（2021年1月～12月）

※6 当社推計

当社が2020年10月に新発売した「一番搾り 糖質ゼロ」は機能系ビールの先駆けとして、「おいしさ」と「糖質ゼロ」を両立した商品で幅広い層から支持をいただき、2022年5月末時点で発売からの販売数量が累計3億本<sup>※7</sup>を突破しました。一方で、一部のお客様からは「飲みごたえは『キリン一番搾り生ビール』には劣る」「機能系ビールはおいしくない」という声があり、「一番搾り 糖質ゼロ」は「一番搾り」ブランドとしての“おいしさ”の実現に課題がありました。

※7 350ml 缶換算

今回、当社は“おいしさ”の進化に注力したことで、当社ビール商品の過去10年におけるリニューアルで最高の味覚進化を実現しました。「一番搾り製法<sup>※8</sup>」はそのままに、「糖質カット製法」に磨きをかけるとともに、麦芽を増量し、ホップ配合を見直すことで、一口目に感じるビールの飲みごたえを向上させ、後味はすっきりと澄んだ味わいを実現しました。その結果、発売前のお客様調査では、味覚評価が現行品から約1.4倍<sup>※9</sup>向上し、「キリン一番搾り生ビール」に匹敵する高い味覚評価をいただいています。

※8 麦汁ろ過工程において最初に流れ出る一番搾り麦汁を使う製法 ※9 当社ビール商品のリニューアルにおける味覚向上率は平均で1.1倍程度

「一番搾り 糖質ゼロ」は、今後もお客様がビールカテゴリーに最も期待する「おいしさ」を提供し、「機能」へのニーズに対応する「一番搾り」ブランド商品として、ビールカテゴリーを活性化していきます。

### ●中味

- ・雑味のない澄んだ麦のうまみを感じられる、飲みやすく、飲み飽きない味わいです。
- ・「一番搾り製法」をベースに、磨きをかけた「新・糖質カット製法」と、麦芽増量、ホップ配合の見直し、アルコール度数5%への変更により、“飲みごたえ”を強化し、“ビールのおいしさ”を実現しました。

### ●パッケージ

- ・「一番搾り」ブランドとしての「おいしさ」「品質感」と、「糖質ゼロ」であることが伝わるデザインです。
- ・「しずくマーク」を大きく配し、おいしそうに表現することで、「おいしい」「高品質」イメージをさらに高めました。

### ●中味開発担当 ～中味開発にかけた思い～

キリンビール株式会社 マーケティング部商品開発研究所 中味開発グループ 山口景平（かげなり）

磨き上げた「新・糖質カット製法」で試験醸造、試飲を繰り返し、おいしさが飛躍的に進化しました。「糖質ゼロはおいしくない」一耳を塞ぎたくなるようなお客様の正直な感想と向き合い、試行錯誤を繰り返してきたからこそ、自信を持ってこう言えます。「糖質ゼロでおいしいビールができました。ぜひ、堪能してください。」



表面

裏面



キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

### 記

- |            |                           |
|------------|---------------------------|
| 1. 商品名     | 「キリン一番搾り 糖質ゼロ」            |
| 2. 発売地域    | 全国                        |
| 3. 発売日     | 2022年7月製造品より順次切り替え        |
| 4. 容量・容器   | 350ml 缶、500ml 缶           |
| 5. 価格      | オープン価格                    |
| 6. アルコール分  | 5%                        |
| 7. 酒税法上の区分 | ビール                       |
| 8. 販売予定数   | 約620万ケース（78,000KL）※大びん換算  |
| 9. 製造工場    | キリンビール仙台工場、取手工場、滋賀工場、神戸工場 |

以上